

## プロダクトデータシート

## Sikafloor® Marine KG-202 N

内装用 軽量一次デッキカバーリングモルタル

代表的な製品データ (その他の情報は安全データシートを参照)

主成分		変成セメントモルタルポリマー
色		グレー
硬化機構		水和反応
密度 (硬化後)	混合直後 硬化後	1.1 kg/l 0.9 kg/l
混合比率	17 kg バッグにつき	4.2 ~ 5.1 L
被着材温度		5 ~ 30 °C
施工厚み		8 ~ 100 mm
施工可能面積	17kg バッグ (厚み1mm)	18 m <sup>2</sup>
作業時間 (CQP599-9)		30 分 <sup>A</sup>
歩行可能時間 (CQP600-3)	湿度・換気による	10 時間 <sup>A</sup>
圧縮強度 (CQP599-2)		12 MPa <sup>B</sup>
屈曲強さ (CQP599-1)		5 MPa <sup>B</sup>
弾性モジュラス (CQP599-5)		2.9 GPa <sup>B</sup>
線収縮 (CQP599-5)		0.03 % <sup>B</sup>
保存期間 (CQP600-1)		12 カ月 <sup>C</sup>

CQP = Corporate Quality Procedure

A) 23 °C / 50 % r. h.

B) 28 日後

C) 乾燥した25 °C以下の冷所で保存

## 製品概要

Sikafloor® Marine KG-202 N は変成セメントポリマーベースの1成分形軽量レベリングモルタルです。  
Sikafloor® Marine KG-202 N はFTPコードシステムに基づいて試験をし、国際海事機関(IMO)の船舶機器指令(MED)の承認を得ています。

## 特長

- 軽量レベリングモルタル
- 低E-モジュラス
- 1成分で混合が容易
- 簡単な施工
- 傾斜面にも施工が可能
- ポンプでの塗布が可能

## 適用範囲

Sikafloor® Marine KG-202 N は、内装デッキの表面を平滑にするために施工され、カーペット、タイル、寄木張りの床、ゴムおよびビニール等のデッキ仕上げ材の前に施工します。  
Sikafloor® Marine KG-202 N は、ウエットおよびドライの居住区での使用に適しています。ウエット区画では、タイルを貼る前に、Sikafloor® MarineElastic などの耐水性の塗膜による追加処理をする必要があります。  
この製品は施工経験のある専門業者での使用を前提としています。実際の被着材と使用条件の適合性の事前確認は必ず実施して下さい

## 硬化機構

Sikafloor® Marine KG-202 Nは、水和反応で硬化します。

## 施工方法

### 下地処理

レベリング施工のため、表面は清潔にし、接着性を損なう恐れのあるホコリ、グリス、オイル、そして他の汚染物質を完全に除去してください。さびはスチールブラシ等で完全に除去し、掃除機で表面を清潔にしてください。

被着材表面は、Sikafloor® Marine Primer-Cを毛足の長いローラーで塗布して表面処理を行います。プライマーが乾燥したら、Sikafloor® Marine KG-202 Nを施工します。

ウエット区画には、表面にSikafloor® MarineElasticなどの耐水塗膜処理を行う必要があります。

ビニールやカーペットのような被覆材の施工の前には、表面を平滑にするためにSikafloor® Marine 100のような薄いセルフレベリングモルタルの塗布を推奨します。

アルミニウムやジンクリッチショッププライマーでコートされているデッキへSikafloor® Marine KG-202 Nを施工する際には、Sikafloor® MarinePrimer-Cの塗布前にSikaCor® ZPPrimerまたは適したタイコート剤が必要となります。

### 混合

Sikafloor® Marine KG-202 N(1袋)を4.2~5.1 リットルの冷たい飲料水と混合します。攪拌機と適切な混合パドルによる混合時間は、約5分(400rpm以下)です。

粉が攪拌容器の底や側面に残らないように完全に混ぜていることを確認して下さい。

一度に大量に混合する場合は、セメントミキサーをご使用ください。いずれの混合方法の場合も、均質なモルタルが出来ていることを確認した上で施工してください。

### 施工

混合したモルタルをコテまたは角材で施工します。

混合後のSikafloor® Marine KG-202 Nは、30分以内に施工して下さい。雰囲気温度30°C以上での施工ではオープンタイムが10分以下になります。

適したポンプシステムについての選定とセッティングについては日本シーカ(株)工業製品本部 技術サービスグループにお問い合わせ下さい。

## 硬化

施工後少なくとも12時間は、硬化過程の施工部に直接熱(下からの切断や溶接など)や日光、風が当たることを避けて下さい。

ビニール等の高密度材でSikafloor® Marine KG-202 Nの上を覆う際は、事前に残留水分率が4%以下であることを確認してください。

乾燥状態を判断するための確認手順(ASTM D 4263に準拠): 施工したモルタル床の表面に1m x 1mのポリエチレンフィルムを置き、周囲をテープで貼り、1日静置します。フィルムに結露がなく、覆われた表面と覆われていない表面の間目に見える色の違いがなければ、硬化は完了です。

### 除去

余分な材料は、硬化前にコテで取り除いておきます。

硬化前のSikafloor® Marine KG-202 Nは、水を用いて、工具や機械から取り除くことが可能です。硬化後は機械的に取り除くしかありません。手など皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流して下さい。適切な皮膚保護用ハンドクリームを使用して下さい。

### その他の情報

ここに記載されている内容は、一般的な情報です。

具体的な施工に関するアドバイスは、日本シーカ(株)工業製品本部 技術サービスグループにお問い合わせください。

以下の資料はご要望に応じて提供いたします。

- 安全データシート (SDS)
- Application Manual  
Sikafloor® Marine KG-202 N

### 荷姿

バッグ	17 kg
-----	-------

## データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

### 健康と安全に関する情報

化学製品の安全な運搬・作業・保管・廃棄を行うために、物質、環境、毒性その他の安全性に関する情報が記載された安全データシートの最新版を、必ずご確認ください。

### 免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の下条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシートの最新版をご参照ください。プロダクトデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。